

令和8年度 須田中学校 学校評価のまとめ

須田中学校 学校評価担当

(1) 知育

評価項目	評価基準
①「授業が楽しい」の割合が90%を上回る。 (生徒アンケート8 / 保護者アンケート4)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が90%以上 B: 肯定的評価をした生徒が80%以上 85.7% C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 85.7%→2学期変化なし。 保護者アンケート 1学期 80.6%→2学期 71.9% 保護者アンケートの値は若干低下。	課題設定の工夫、授業の流れを視覚化、「分かる」「楽しい」授業の振り返り等を共通して実施している結果が出たと考えます。 職員での授業研究を継続して行っています。
②「授業がわかる」の割合が90%を上回る。 (生徒アンケート9 / 保護者アンケート5)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が90%以上 91.4% B: 肯定的評価をした生徒が80%以上 C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 97.1%→2学期 91.4%。 保護者アンケート 1学期 72.2%→2学期 71.9% 生徒アンケートの値は若干低下。	授業中の職員による丁寧な見取り、スモールステップでの積み重ね、きめ細かい単元テストの実施等の成果だと思います。少人数を活かし、一人一人が理解しやすい授業を追究します。
③発表やグループ活動の場面で、自分の考えや立場を伝えることができる生徒が80%を上回る。 (生徒アンケート2)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が80%以上 94.3% B: 肯定的評価をした生徒が70%以上 C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 94.3%→2学期 94.3%	「話し合い」「関わり合い」を大切にしていこうとする意識は、生徒にも伝わっていたと感じます。今後、引き続き「対話スキル」に着目し、自分の思いを適切に伝えられる力を高めていきます。
④話し合う際や発表する際にICT機器を役立てることができた生徒が80%を上回る。 (生徒アンケート4)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が80%以上 85.7% B: 肯定的評価をした生徒が70%以上 C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 80.0%→2学期 85.7%	生徒会活動や行事等でも積極的にタブレットを活用することで、発表する場や表現する場でも使えるようになっていきます。生徒はアプリ等を喜んで使っているので、今後さらに有効活用を目指します。
⑤家庭学習を平日60分以上休日90分以上行った日の割合が全体で80%を上回る。 (生徒アンケート6 / 保護者アンケート3)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が80%以上 B: 肯定的評価をした生徒が70%以上 C: Bに満たない 57.1%
生徒アンケート 1学期 48.6%→2学期 57.1% 保護者アンケート 1学期 44.4%→2学期 59.4%	特に1年生の数値が低いです。学習に対する意識向上に向け、学習の必要性を伝え、進路学習、生活習慣改善の取組を進める必要があります。学年と教科が連携して適度な課題を提示し、それを生徒が確実に取り組むよう、引き続き働き掛けを行っていきます。

(2) 徳育

評価項目	評価基準
①「学校へ行くのが楽しい」の割合が 90%を上回る。 (生徒アンケート15/保護者アンケート 8)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 90%以上 B: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 85.7% C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 88.6%→2 学期 85.7% 保護者アンケート 1学期 88.9%→2 学期 96.9% 生徒アンケートの値は若干低下。	全体的には楽しく生活できていますが、一部、学習意欲や周りとの関係等で、前向きにならない状況が生じます。一人一人の話をよく聞き、学校生活が充実するよう支援します。
②「自分は仲間、集団、地域等に貢献できていると思う」の割合が 90%を上回る。 (生徒アンケート11)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 90%以上 B: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 82.9% C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 82.9%→ 2学期 85.7%	2学期中に大きな行事を経験し、全体として数値は上向きです。生徒会等での取組の意味合いや価値をより発信し、子どもたちのキャリアに活かすフィードバックを行います。
③「学級・生徒会・行事等で話し合いながらより良いものを目指すことができたと思う」の割合が 90%を上回る。(生徒アンケート12)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 90%以上 97.1% B: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 94.3%→ 2 学期 97.1%	今年度は縦割り班で話し合ったりする場面が多々ありましたが、生徒はより主体的に活動に取り組む様子が見られました。上級生のリードや役割分担等も有効でした。

(3) 体育

評価項目	評価基準
①「体育の授業やハッスルタイムを通して、運動を楽しんでいる」の割合が 80%を上回る。 (生徒アンケート16)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 88.6% B: 肯定的評価をした生徒が 70%以上 C: Bに満たない
生徒アンケート 1学期 88.6%→2学期 88.6% 数値は変化なし。	運動の得意・不得意に関わらず、積極的に体を動かしている生徒が多いです。自分なりの目標を持たせ、運動を通して達成感を得られるような取り組みを継続します。
②「元気アップ週間で、自分の決めた目標を達成するために、意識して生活できた」の割合が 80%を上回る。 (生徒アンケート17 / 保護者アンケート8)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 B: 肯定的評価をした生徒が 70%以上 74.3% C: Bに満たない
生徒アンケート 1 学期 82.9%→2学期 74.3% 保護者アンケート 1 学期 69.4%→2学期 78.1%	・生徒の自己評価は低下しましたが、発信の工夫等を通し、保護者の評価は10%アップしています。規則正しい生活習慣の大切さを伝え続けていきます。
③「さまざまな学習(SNS・睡眠・食)の場面を通して、より良い生活習慣に対する意識が高まった」の割合が 80%を上回る。 (生徒アンケート18 / 保護者アンケート9)	生徒アンケートの項目において A: 肯定的評価をした生徒が 80%以上 B: 肯定的評価をした生徒が 70%以上 71.4% C: Bに満たない
生徒アンケート 1 学期 77.1%→2学期 71.4%	・感染症予防や受験期の健康、心の健康(SNS との付き合い方)等に関する保健だよりを発行するとともに、保健給食委員会からの呼びかけを継続して働き掛けます。

生徒アンケートの記述内容より 3学期に取り組んでいくこと

○学習について

- ・振り返りが学びの確認に有効であるという記述がありました。その日、その授業の振り返りを各教科で大切にして、引き続き、子どもたちにとって有意義な振り返りをさせていきます。
- ・振り返りの時間をとることで、授業終了時間が休み時間に食い込んでしまう状況がありました。振り返りの時間を確保した中で授業を組み立て、授業終了時刻を時間通りにしていきます。
- ・生徒の記述からは、「授業の中で、関わりの場を増やしてほしい」という要望が多数寄せられました。日常的に話し合いの場面を採り入れ、関わりを通して考えを深めていくことを目指して、深い学びのある授業を実施していきます。

○「学級活動」「生徒会活動」について

- ・クラスでやりたいこと、生徒会で取り組んでいきたいこと等、良い意見がいくつも提示されていました。より生徒の声を反映し、生徒自身が考えて取り組むことができるよう、それぞれの場面で働き掛けていきます。

保護者アンケートの記述内容より

- ・スクールバスの運行について、小学校と合わせて分かりやすくしてほしい、という要望がありました。早速スクールバス運転協議会で話題にして、現在、降雪時運行のバス停に切り替えるタイミングは、小学校と同時にするようにしています。今後もこの形で進めていく予定です。
- ・小学校の授業参観（フリー参観日）と、中学校の授業参観の日程を調整してほしいという要望がありました。フリー参観日を小中同日に設定することを検討してみたのですが、小中間の行事の調整が難しく、同日開催は見送ることといたしました。中学校の授業日程等の中で、必要な時期に授業参観、発表会、説明会等の設定をさせていただきますので、ご理解くださいますよう、お願いいたします。また、行事や授業参観等のオープンスクールについては、早めに日程を提示していきますので、多くの保護者の皆様からご来校いただけますと幸いです。
- ・なお、次年度は中学校の学習発表会を小学校と同日に設定します。（AM：小学校 PM：中学校）また、年度始めの育友会総会の日は「金曜実施」に変更させていただきます。（1，2年生の保護者の皆様には、3月の保護者会時に決まっている年間の予定を提示いたします。）